

鴨川市教育委員会 2 月定例会議事録

- 1 日 時 平成30年2月22日(木) 開会 午後2時00分
閉会 午後3時45分
- 2 場 所 天津小湊支所2階 会議室
- 3 出席委員 (1) 月岡正美 (2) 根本新太郎 (3) 石井千枝
(4) 吉原里夏 (5) 永島康弘
- 4 出席職員 (1) 瀧口正勝 (2) 長谷川幹男 (3) 黒野雅典
(4) 羽田幸弘 (5) 鈴木克己 (6) 石川丈夫
(7) 福田和史

5 教育委員会1月定例会議事録の承認

- ・月岡教育長から、1月定例会議事録について、訂正等の確認がなされ、質疑なく、全員の下承が得られた。

6 教育長・委員報告

- ・月岡教育長から、統合後の小湊小中学校の跡地活用、鴨川市行政組織改編の報告がなされた。小湊小中学校の跡地活用では、小湊地区の各種団体等関係者及び学識経験者をもって組織する検討会議と、無作為に選ばれた市民等で構成される100人会議を開催し、学校再編に係る協議と平行して、跡地活用を中心とした地域の活性化について検討していく。その際、事業仕分けでも依頼した「構想日本」から外部コーディネーターを派遣してもらい、住民協議会の手法を用いて、跡地活用について検討していく、との説明がなされた。
- ・石井委員から、第2回教育長・教育委員研修会、ロシア女子合唱団公演、郷土資料館企画展「廻塚の伊八」の参加報告がなされた。教育委員研修会では、千葉保護観察所の企画調整課長による「更生保護」についての講演であった。ロシア女子合唱団公演では、寒い中、多くの方が参加し盛況であった。鴨川少年少女合唱団も共演し、素晴らしい交流ができた。郷土資料館の企画展では、年配の参加者が大変多く、エレベーターがあればと感じた。また学芸員が大変丁寧に説明されていた、との感想・報告がなされた。
- ・永島委員から、ロシア女子合唱団公演、第52回安房地区社会教育振興大会への

参加報告がなされた。ロシア女子合唱団公演は大変すばらしい内容であっただけに、もっと多くの子どもたちに参加して欲しかった。第52回安房地区社会教育振興大会は、記念講演として第14代日本相撲協会横綱審議委員会委員長で千葉大学名誉教授の守屋秀繁氏から、相撲協会の様々な話が聞けた。その他、国際交流協会の事業紹介がなされた。

また、教育委員として1年間が過ぎ、多くのことが勉強となった。教職員の働き方改革や小湊地区の幼保の問題、鴨川市の学校のあり方など、引き続き多くの課題について勉強していかなければと思っている、との報告・感想がなされた。

7 報告事項

(1) 平成30年度学校医等の一部変更について

- ・瀧口学校教育課長から、「平成30年度学校医等の一部変更について」資料をもとに報告がなされた。

(2) 平成29年度の教育委員会の点検・評価予定について

- ・瀧口学校教育課長から、「平成29年度の教育委員会の点検・評価予定について」資料をもとに報告がなされた。

(3) 鴨川市行政事業レビュー(事業仕分け)を受けた「今後の対応方針」について

- ・黒野生涯学習課長、長谷川学校給食センター所長から、「鴨川市行政事業レビュー(事業仕分け)を受けた「今後の対応方針」について」資料をもとに報告がなされた。

(4) 日本遺産について

- ・黒野生涯学習課長、石川文化振興室長から、「日本遺産について」資料をもとに報告がなされた。

(5) 平成30年度当初予算について

- ・月岡教育長から、市全体の財政状況の説明がなされ、その後、瀧口学校教育課長、黒野生涯学習課長、長谷川学校給食センター所長から、当初予算について説明がなされた。
- ・永島委員から、この予算で十分なのか、との質問がなされ、月岡教育長から、大変厳しい状況だがメリハリをつけて予算配分をしている。学校教育については、学校の施設改修を含め、恒常的にしっかりと予算化していくべきものと考えている。また、黒野生涯学習課長から、施設の老朽化に伴う維持費が今後の大きな課題である、との説明がなされた。

- ・吉原委員から、給食費については次年度200人も子どもが減るのか、との質問がなされ、長谷川学校給食センター所長から、江見認定こども園が自園給食となり、その分が減るためである、との説明がなされた。
- ・根本委員から、公民館利用者の交通手段は何が多いのか、との質問がなされ、黒野生涯学習課長から、アンケート調査の結果、ほとんどが車で徒歩は10%程度である、との回答がなされた。
- ・吉原委員から、公民館の利用料を少額でも有料化することにより、子育て世代がもっと有効活用できるようにならないものか、との質問がなされ、黒野生涯学習課長から、学校の遊休施設に児童館を設けるなどの工夫等が考えられる。また、月岡教育長から、県内の公民館では有料化されている方が多いのでは、との質問がなされ、黒野生涯学習課長から、県内の7～8割は何らかの利用料が少額だが有料化されている、との回答がなされた。

(6) その他

- ・福田指導主事から、いじめ状況調査の現状について、資料をもとに説明がなされた。
- ・瀧口学校教育課長から、天津・小湊地区統合小学校の校名公募結果の経過について報告がなされた。
- ・石川文化振興室長から、郷土資料館の企画展の参加状況について報告がなされた。

8 閉 会

閉会后、3月の教育委員会行事予定について、各所属長より説明がなされた。

月岡教育長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成30年3月26日

鴨川市教育委員会 教育長

教育長職務代理者

議事録作成者 瀧口 正勝